

前 年 度 【令和5年度】 実 績

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																		
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(t)	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量(t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	(⑪＝①－②－③－④＋⑤－⑥－⑨＝⑦＋⑧＋⑩＋⑪)						⑫＋⑬	⑭＋⑮	
コード	名 称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	委 託 先 に よ る 区 分						⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑫＋⑬自ら再生利用を行った量(t)	⑭＋⑮自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭を除く)	⑫の量のうち、認定熱回収業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑰の量と⑮の量を合計したもの(自動計算)	⑱の量と⑲の量を合計したもの(自動計算)	
1	1800	ばいじん	338985.1								338985.1	313792.1			25193.0		56074.8	0.0	0.0	
2	0111	燃え殻	30980.6								30980.6	22181.9		4257.3		4541.5	11611.6	0.0	0.0	
3	0200	汚泥	90506.4			88282.3	2432.6	85849.8			4656.7	3816.9	838.7			1.1	1216.1	0.0	0.0	
4	1200	金属くず	0.6								0.6	0.6					0.6	0.0	0.0	
6	0600	廃プラ	3.9								3.9	3.9					3.9	0.0	0.0	
7	7110	廃酸	13458.1								13458.1	11727.3		1730.8			13458.1	0.0	0.0	
8	1400	鉱さい	91.5								91.5			91.5			91.5	0.0	0.0	
9	2550	水銀回収義務付け製品(計測器以外)	0.0001								0.0001	0.0001					0.0001	0.0000	0.0000	
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
合計		474,026.1	0.0	0.0	88,282.3	0.0	2,432.6	85,849.8	0.0	0.0	388,176.4	351,522.6	838.7	6,079.6	25,193.0	4,542.6	82,456.3	0.0	0.0	

(注1)小数点以下1桁未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和 6年度】目標

産業廃棄物の種類		計画の実施状況														⑩＝①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑩+⑪+⑫+⑬+⑭						②+⑧	③+⑨
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分				⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)							
コード	名称										⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量 (t)	⑯の量のうち、優良認 定処理業者への委託 処理量	⑰の量と⑱の量を 合計したもの(自動 計算)	⑲の量と⑳の量を合計 したもの(自動計算)					
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物 の種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理を行っ た後の量	④の量から⑥の量 を差し引いた量	⑤の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入処 分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量	⑰の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑪、⑫を除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施 設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以 外の熱回収を行っている処理業者への焼 却処理委託量	⑭の量のうち、委託して 焼却等の中間処理した 量 (⑮+⑯を除く)	⑮の量のうち、直接 委託して埋立て最終 処分した量	⑯の量のうち、優良認 定処理業者への委託 処理量	⑰の量と⑱の量を 合計したもの(自動 計算)	⑲の量と⑳の量を合計 したもの(自動計算)				
1	1800 ばいじん	344,452.8									344,452.8	344,452.8					0.0	0.0					
2	0111 燃え殻	25,229.2									25,229.2	25,229.2					0.0	0.0					
3	0200 汚泥	90,828.4			89,425.1		2,464.1	86,961.0			3,867.4	3,867.4					0.0	0.0					
4	0600 廃プラ	3.9									3.9	3.9					0.0	0.0					
5	1200 金属くず	0.6									0.6	0.6					0.0	0.0					
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
合計		460,514.9	0.0	0.0	89,425.1	0.0	2,464.1	86,961.0	0.0	0.0	373,553.8	373,553.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

(注1)小数点以下1桁未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。